

～第14回名古屋市障害者スポーツ大会が開催されました。～

5月7日(日)に「名古屋市障害者スポーツ大会 陸上競技・フライングディスク・レクリエーションの部」がパロマ瑞穂スタジアム及びレクリエーション広場で開催され、約740名が好天の下、熱戦を繰り広げました。

河村市長の手話を交えた開会の挨拶に続き、名身連の浅野会長が「2020年に開催される東京パラリンピックに一人でも出場できるように頑張ってください」と激励の挨拶をし、大会の幕が開けました。今年は愛媛県、福井県、名古屋市のゆるキャラ「みきゃん」、「ぱびりゅう」、「はち丸」が応援に駆け付け、選手たちに熱い激励を送っていました。

午前10時に競技が開始。競技は性別、年齢、障害の程度ごとに分かれて競い合います。選手たちは日頃の練習の成果を発揮するため、競技前から入念に準備をしていました。入賞や自己記録更新、全国大会出場等、選手たちは各々が掲げた目標を達成するため、ひたむきに汗を流していました。「頑張れ!」、「ファイト!」とスタンドからは選手を応援する声援がわき、大会は盛り上がっていました。

今年の全国大会は10月28日から30日まで愛媛県で開催される予定です。



選手の応援にきたゆるキャラ達
(左からみきゃん、ぱびりゅう、はち丸)



砲丸投げの様子
浅野会長も選手として奮闘しました